

製品名: ADORA2A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81934**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44.7kDa

抗原情報

遺伝子名	ADORA2A
別名	A2aR; RDC8; ADORA2
遺伝子 ID	135.0
SwissProt ID	P29274
免疫原	大腸菌で発現したヒト ADORA2A (AA: 274-412) の精製された組み換え断片。

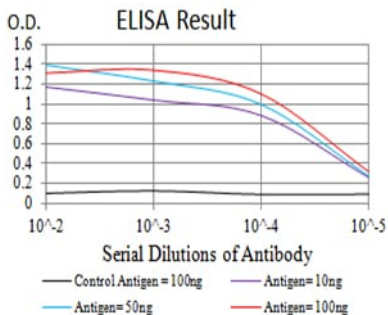
背景

この遺伝子は、グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (G タンパク質) 共役受容体 (GPCR) スーパーファミリーのメンバーをコードしており、このファミリーはクラスとサブタイプに細分化されています。これらの受容体は 7 回膜貫通型のタンパク質で、細胞外か

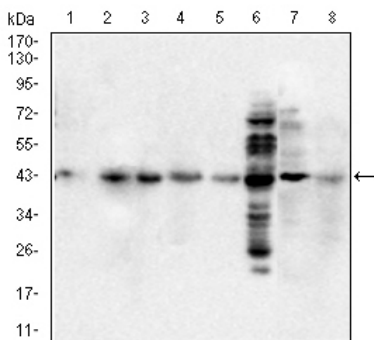
らの刺激に反応し、細胞内シグナル伝達経路を活性化します。このタンパク質は A2A サブタイプのアデノシン受容体であり、アデノシンを優先的な内因性アゴニストとして利用し、G タンパク質の G(s) および G(olf) ファミリーと優先的に相互作用して、細胞内 cAMP レベルを上昇させます。心臓のリズムと循環、脳と腎臓の血流、免疫機能、疼痛調節、睡眠など、多くの生物学的機能において重要な役割を果たしています。炎症性疾患や神経変性疾患などの病態生理学的状態に関与していることが示唆されています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。上流の SPECC1L (カルボニン相同性およびコイルドコイルドメイン 1 様を持つ精子抗原) および ADORA2A (アデノシン A2a 受容体) 遺伝子配列で構成されるリードスルー転写が特定されていますが、非コードであると考えられています。

研究分野

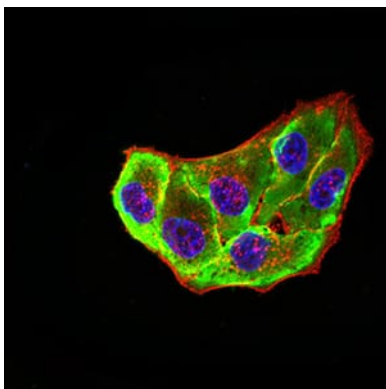
画像データ



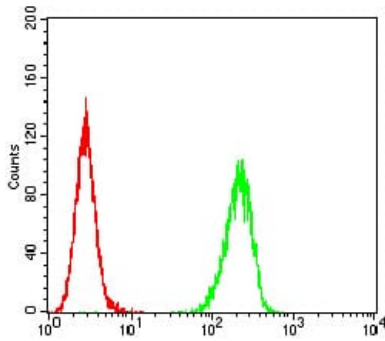
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



ADORA2A マウス mAb を用いた CHO3D10(1), COS7(2), F9(3), L1210(4), C6(5), C2C12(6), NIH/3T3(7), Raw264.7(8) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



ADORA2A マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ADORA2A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。